

2018年度米海軍佐世保基地内大学就学希望者募集

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会では国際性豊かな人材育成を図るため、米海軍佐世保基地内大学への日本人就学希望者を次のとおり募集いたします。

1. 米海軍佐世保基地内大学で就学できる大学と学位取得課程およびコース

大学名	メリーランド大学 University of Maryland University College, Asia			
学位取得課程 およびコース	入学準備コース ^(※)		学位なし	Bridge Program
	正規 入学 コース	準学士課程		文系 Associate of Arts
		学士課程		文系 Bachelor of Arts
				理系 Bachelor of Science
大学院	修士課程	経営管理学	Master of Business Administration (MBA)	
メリーランド大学（アジア地区）ホームページ				http://www.asia.umuc.edu/

※入学準備コース(ブリッジ・プログラム)は、大学教育を受けるにあたり必要となる英語力を向上させるための1年間のプログラムで、大学が指定する5つの講座を順番に受講して“C”以上の評価で修了すると英語の資格に関係なく準学士・学士課程に進学できます。(修士課程(大学院)についてはこのコースを修了しても、正規入学の応募の条件である英語の資格の提出が必要です。)

※取得できる学位はアメリカのもので日本の学位ではありません。

※履修できる学科やコースの詳細は、上記しています大学のホームページ(英語)で確認してください。

2. 入学金および授業料など

入学金	1単位当たり授業料	学位取得に必要な単位数
50ドル	229ドル	入学準備コースは学位なし(修了証のみ)
		準学士課程／60単位以上
		学士課程／120単位以上
50ドル	304ドル	修士課程／45単位

※2017年度(2017年8月～2018年7月)の教育年度の授業料です。アメリカでは毎年8月に教育年度が変わりますが、その時期に合わせて2018年度の授業料が発表されるため、就学開始する時には金額が変わる場合があります。

※授業料は受講する講座の分だけをその時に支払います。(年払い・半年払いではありません。)

※ほとんどの講座の単位数は3単位で、例外として「0単位(ブリッジ・プログラムの一部の講座)」や準学士・学士課程には「1単位」や「4単位」、修士課程には「6単位」の講座があります。)

※1講座当たりの授業料は1単位当たりの授業料に受講する講座の単位数を掛けて算出します。

例: 正規入学コース(準学士・学士課程)で「3単位の講座」を1講座受講する場合、

$$229\text{ドル}(1\text{単位当たりの授業料}) \times 3\text{単位}(受講講座の単位数) = 687\text{ドル}$$

※入学準備コースの授業料は正規入学コースの3単位の講座と同額です。(0単位(単位が付かない)の講座も3単位と同じ扱いです)。

3. 募集期間

2018年4月9日（月）～2018年6月28日（木）

※郵送での申し込みの場合は2018年6月28日（木）必着

4. 募集内容

募集人員－ メリーランド大学正規入学コース（準学士・学士課程、大学院－修士課程）
 メリーランド大学入学準備コース　9名以上（下記②参照） } 若干名

② - 入学準備コースは、実施条件として最少実施人数が9名と定められていて、受講者の人数が最少実施人数に満たない場合、このコースの講座は実施されませんので予めご了承ください。

応募資格

下記①から③までを満たしている方

①日本国籍を有し、長崎県内に住所を有している18歳以上の方

- ②学力 ●正規入学コースの準学士・学士課程、入学準備コース
 －高校を卒業した方、または同等の学力があると認められる方
 ●正規入学コースの修士課程－大学院
 －学士号取得者（4年制大学卒業）以上

③希望するコースで定められている英語の資格の条件を満たしている方

正規入学コースは取得から2年以内 - 2016（平成28）年9月以降に取得

入学準備コースは取得から7年以内 - 2011（平成23）年9月以降に取得

※アメリカの高等教育機関での就学経験がある人は、大学が求める条件を満たしていれば英語の資格が免除される場合があります。詳しくは巻末の『9. 英語の資格に関する補足説明 英語の資格免除について』でご確認ください。

正規入学コース （準学士・学士課程） （修士課程－大学院）	『TOEFL iBT 79点 以上』 『TOEFL PBT 550点 以上』 『実用英語技能検定（英検）準1級 以上』 『IELTS 6.5 以上』（アカデミック・モジュール） のうちのどれか一つに該当すること
入学準備コース （ブリッジ・プログラム）	『TOEFL iBT 45点 以上』 『TOEFL PBT 450点 以上』 『TOEFL ITP テスト 450点 以上』 『実用英語技能検定（英検）2級 以上』 『IELTS 4.0 以上』（アカデミック・モジュール） のうちのどれか一つに該当すること

※英語の資格は応募の時点で上記の条件を満たしている必要がありますが、「実用英語技能検定（英検）」については2018年度第1回検定の「1次試験」（試験日-本会場6月3日、準会場6月2日・3日）の結果が「合格（②2018年度の第1回検定が「1次試験免除」の者を含む。）」なら『仮受付』を行い、7月上旬に実施される「2次試験」も「合格」なら、本年度の応募者として選考の対象とします。詳しくは巻末の『9. 英語の資格に関する補足説明 実用英語技能検定（英検）について』でご確認ください。

5. 応募の手続き

必要な書類を揃え、応募締め切り日までに佐世保市役所基地政策局内「米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局」へ提出してください。

【重要】提出書類に不備や不足があった場合は受け付けを致しません。

①入学願書(第1号様式)	○
②履歴書(第2号様式)	○
③応募承諾書(第3号様式)	▲
④住民票(本人のみ本籍の記載があるもの)	○
⑤成績証明書(コピー不可-未開封)	○
⑥英語の資格証明書(コピー不可※英検については別途指定があります)	○
⑦作文「なぜアメリカの大学で学びたいか - Why I want to study at an American College」 (A4用紙-日本語・英語で同内容のもの)	○

「○」印は提出、「▲」印は該当者のみ提出。

※①、②、③は米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会備付の用紙を使用して下さい。用紙は佐世保市のホームページからもダウンロードできます。(①と②は直筆で記入)。

※①には撮影から3か月以内の証明写真を貼付してください。(無背景で縦4.5センチ×横3.5センチのパスポート申請用サイズ-正面を向いた写真でスナップ写真は不可。)

※①の「本籍」と「現住所」欄は④に記載されているとおりにしますが、④にマンションなどの建物名や丁目の記載がされていない場合は省略せずに記入してください。

※①の「最終卒業学校名および最終学歴」には高等学校の場合でも「学科名」や「コース名」を記入してください。在学中や休学中、中退した学校は「最終学歴」に該当しないので『②履歴書』の学歴欄に記入し、その前の卒業学校を「最終学歴(=最終卒業学校)」として①に記入してください。

※①の「備考欄」には今回の応募条件に該当しない英語の資格があれば「資格名」、「級や点数」、「取得年」を記入してください。(例:TOEICのスコアなど)。

※②の「学歴」欄に日本以外の学校を記入する時は学校名の後に国名(アメリカは州名も)を記入してください。

※③はお勤めをしている方は全員提出してください。(自営業の方は提出不要です)。

※④は発行から3か月以内のもの。(3か月以内でも記載事項に変更がある場合は変更後のものを提出する。)この書類は就学希望者本人だけの記載があり、「続柄」「個人番号」「住民票コード」の記載は不要ですが、応募資格の「日本国籍を有する者」の確認ために本籍の記載は必要です。

※⑤は①の書類の「最終卒業学校名および最終学歴」欄に記入した学校の成績証明書(未開封)を提出していただきます。

※⑥は原本(オリジナル)を提出してください。当就学実行委員会事務局で資格の条件を満たしていることを確認した後、事務局の保管用にコピーを1部作成し、原本は返却します。

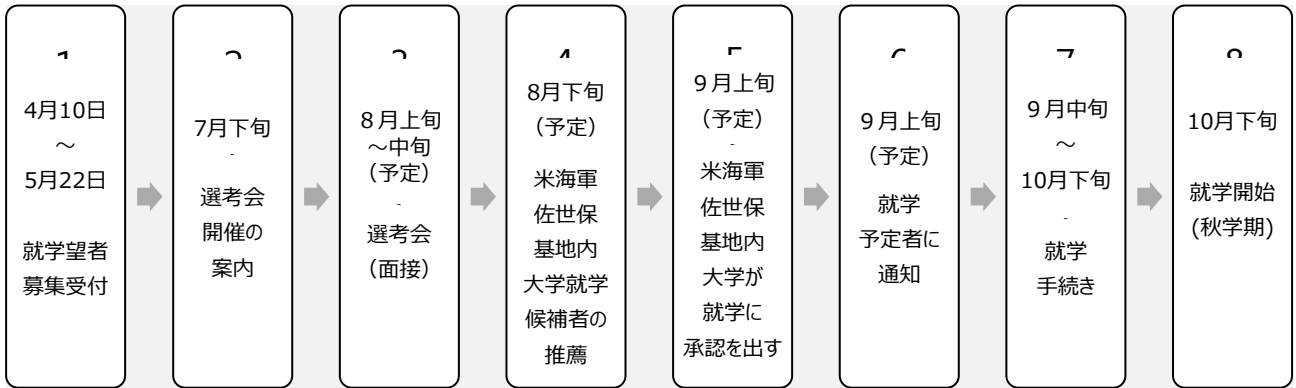
⑨-英検の2018年度第1回検定の結果で応募を希望される方は提出していただく書類が異なります。5ページの「9. 英語の資格に関する補足 英検について」でご確認ください。

※⑦は指定の題名で日本語と英語で同内容の作文を提出してください。当就学実行委員会備付の作文用紙は佐世保市のホームページからダウンロード出来ますが、A4サイズの内紙のページの左上に「題名」、右上に「就学希望者の氏名」が記入してあれば自分で作成された書式の作文も受け付けます。手書きは不可で、タイプライターまたはワープロソフトで作成して印刷したものを提出してください。

※⑥の原本(オリジナル)を除いては返却しません。

応募に際して提出された書類は当就学実行委員会事務局で保管をし、米海軍佐世保基地内大学には提出しません。

6. 就学希望者募集から就学開始までの流れ（2018年度の場合）



※『③選考会(面接)』から『⑥就学予定者に通知』までの予定は変更される場合があります。

※「米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会」が実施する『③選考会(面接)』は「米海軍佐世保基地内大学就学候補者選考委員会」の選考委員(長崎県内の学識経験者)による年に1回(1日限り)の日本語での面接です。選考会の案内は文書で発送いたします。

※『③選考会(面接)』の結果は『米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会』の各委員に文書で報告し承認を受けた上で、同就学実行委員会会長(=長崎県知事)が『米海軍佐世保基地内大学』に就学候補者として推薦をします。(『③選考会(面接)』を受けていない方は就学候補者として推薦されません。)

7. 本年度の就学予定

メリーランド大学正規入学コースと入学準備コース(ブリッジ・プログラム)はともに、平成30年10月下旬からの就学開始予定。

※入学準備コース(ブリッジ・プログラム)はコース開始の時期はあくまでも予定であり、同大学の開始の発表をもってこの同コースは開始されます。

8. 願書等請求先及び提出先

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局(佐世保市基地政策局内)

〒857-8585

長崎県佐世保市八幡町1番10号

TEL : 0956-24-1111 (内線 2567)

FAX : 0956-25-9631

E-mail : kichisei@city.sasebo.lg.jp (佐世保市基地政策局メールアドレス)

(電話による問い合わせ受付時間: 8:30~17:15 / 土・日・祝日を除く)

※米海軍佐世保基地内大学への就学に関する情報は佐世保市のホームページに掲載しています。

9. 英語の資格に関する補足説明

実用英語技能検定(英検)について

「英検」とは公益財団法人日本英語検定協会が運営する「実用英語技能検定」を指します。

2018年度第1回検定試験の結果で応募をされる方は、公益財団法人日本英語検定協会が発行する英語の資格証明書の代わりとして下記の①または②を添付し、そのほかの書類と一緒に応募締め切り日(6月28日(木))までに提出していただければ、「仮受付」をいたします。

①1次試験に合格—2次試験受験票のコピー

②1次試験は免除に該当して2次試験から受験—2次試験の受験票のコピー

実用英語技能検定(英検)2018年度第1回検定

受験受付期間:2018年3月11日(日)~5月11日(金)(ただし書店申し込みは5月7日(月)まで)

1次試験—本会場2018年平成30年6月3日(日)、準会場 6月1日(金)、2日(土)、3日(日)

2次試験—A日程2018年7月1日(日)、B日程7月8日(日)

※1次試験の準会場とは学校や私塾などの申込団体単位で会場を設けて試験を実施しており、一般の方は本会場のみで受験が可能です。

※2次試験の受験票の一次試験結果欄には「合格」または「1次免除」の記載があること。

※応募締め切り日までに2次試験の受験票が届かない場合は、英検のウェブサイトの合否閲覧サービスで応募者本人の氏名と1次試験の結果が確認できる画面を印刷して受験票のコピーの代わりとして提出し、後日、届いた受験票のコピーを改めてご提出ください。

※2次試験の結果は7月19日(木)までに英検ウェブサイトの合否閲覧サービスで必ず確認をして、当就学実行委員会事務局まで「合否の結果」を電話でお知らせください。

※2次試験の合格証は7月26日(木)までに当事務局へ提出してください。合格証の受け取りが間に合わない場合は、英検ウェブサイトの合否閲覧サービスで受験者名と2次試験の結果が確認できる画面を印刷し合格証の代わりとして提出し、公益財団法人日本英語検定協会発行の合格証は受け取り次第、提出してください。

TOEFL iBTについて

受験者用控えスコアレポート(Test Taker Score Report)が1通発行されますが、このレポートはテストを申込み時に「My Home Page」のスコア通知設定(Score Reporting Preference)のページで「オンライン上でのスコア確認および郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。(テスト前日の午後10時まで選択の変更が可能。)

応募締め切り日までにスコアレポートが間に合わない場合は、テスト結果をオンライン上で確認し(受験日の10日後から「EST Web」ページの「My Home Page」にログインして確認が可能)、受験者名とスコアが確認できる画面を印刷してスコアレポートの代わりとして提出し、ETS発行の受験者用控えスコアレポートは受け取り次第、提出してください。

IELTS について

アカデミック・モジュールとジェネラル・モジュールの 2 種類があり、アカデミック・モジュールでのみ応募が可能です。

テスト結果は、筆記試験から13日後の13時から公益財団法人日本英語検定協会のIELTSのページで確認可能で、公式の成績証明書 (Test Report Form) スコアレポートが1通発行されます。応募締め切りまでにスコアレポートの到着が間に合わなければ、受験者名とスコアが確認できる画面を印刷して代わりに提出し、スコアレポートは受け取り次第、提出してください。

英語の資格免除について

- ㊦ アメリカの高等学校・短期大学・4年制大学を卒業した方
- ㊧ アメリカの短期大学・4年制大学で就学経験がある方
- ㊨ アメリカにある高等教育機関が実施する ESL (English as a Second Language) プログラムなどの英語力強化コースを修了した方
- (㊩-短期間の語学留学は含まれません)

上記の条件に該当する方は、まず、英語の資格免除の条件に該当していることを大学に確認する必要があり、その回答が出るまでに2カ月程度かかります。問い合わせに際しては、就学していた学校や教育機関の名称と所在地のほかに成績表(英文)の提出が必要になるので、早めに当事務局までお問い合わせください。

※英語圏でもアメリカと教育制度が違う国や地域での就学経験は免除の対象外です。